

令和6年度 保育園・幼稚園クラス年齢早見表

※令和6年度は…令和6年4月1日～令和7年3月31日 です

クラス		生 年 月 日
5歳児クラス(年長)		平成30(2018)年4月2日 ～ 平成31(2019)年4月1日
4歳児クラス(年中)		平成31(2019)年4月2日 ～ 令和 2(2020)年4月1日
3歳児クラス(年少)		令和 2(2020)年4月2日 ～ 令和 3(2021)年4月1日
2歳児クラス		令和 3(2021)年4月2日 ～ 令和 4(2022)年4月1日
1歳児クラス		令和 4(2022)年4月2日 ～ 令和 5(2023)年4月1日
0歳児 クラス	A	令和 5(2023)年4月2日 ～ 令和 6(2024)年4月1日
	B	令和 6(2024)年4月2日以降に生まれたお子さん (令和7年度も 0歳児クラス)

小学生								
5歳児 (年長)								
4歳児 (年中)								
3歳児 (年少)								
2歳児 クラス								
1歳児 クラス								
0歳児 クラス	A	B						
	R 6 年度 2024年 4月～	R 7 年度 2025年 4月～	R 8 年度 2026年 4月～	R 9 年度 2027年 4月～	R10 年度 2028年 4月～	R11 年度 2029年 4月～	R12 年度 2030年 4月～	R13 年度 2031年 4月～

幼稚園ナビ

市川市役所
子育てナビ

はじめての幼稚園選びは
分からないことも多いですね。

園選びのポイントや手続きの
流れ等、ご家庭のライフスタイル
に合わせ一緒に考えていくのが
「子育てナビ」です。

子育てナビ窓口

子育てナビハ幡

第一庁舎2階 (ハ幡1-1-1)

☎047-711-0135

子育てナビ行徳

行徳支所2階 (末広1-1-31)

☎047-359-1208

幼稚園の入園手続きは、各幼稚園で行います

幼稚園入園の前の年に説明会・見学会を開催する園もあります。
(未就園児対象のプレ保育を開催している園もあります)

①入園願書

入園願書の
配布日を確認

ご自身で各園に
取りに行きま
す。

②願書提出

提出日の確認

各園、願書以外
に必要な書類提
出があるか確認
します。

③面接等

親子面接、抽選、
など、幼稚園に
よって違いがあ
ります。

④入園準備

入園前に制服や
教材、その他の
準備があります。

↓
ご入園

※入園についての案内は、各園の
ホームページを確認したり、電話
で問い合わせたりしてください。





気になる質問にお答えします！

Q市立幼稚園、私立幼稚園、認定こども園は何が違うの？

A対象年齢や入園料、園区のありなし、給食、預かり保育など、さまざまな幼稚園の概要に違いがあります。

詳しくは「幼稚園の利用のご案内」でご確認ください。

Q幼稚園と保育所は何が違うの？

A幼稚園の管轄は「文部科学省」、保育所は2023年4月から「こども家庭庁」になりました。幼稚園は3歳以上のお子さん、保育所は乳幼児(0歳児)から入園でき、「保育を必要とする事由」が必要となります。



Q.子どもが集団生活をするようになったら仕事をしようかと考えています。そうすると保育園を申し込んだ方が良いですか？

A.私立幼稚園、認定こども園でも、就労支援型の預かり保育を実施している園が多くあります。それらの園では、月曜から金曜の8時から17時30分および、長期休暇時(夏季・冬季・春季)も実施しているので、入園後に就労を開始することも可能です。

認定こども園には、保育認定(2号認定)があります。

Q幼稚園、保育所、認定こども園のどこを卒園したかで小学校に入った時に何か違いがでますか？

A保育所の「保育所保育指針」幼稚園の「幼稚園教育要領」認定こども園の「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が平成30年度(2018年)に改訂され、3つの幼児教育施設で共有すべき内容が示されました。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が3施設とも同じになっているので、小学校に上がる時には、どの施設を卒園しても、小学校への接続がスムーズに行われるようになっています。安心して小学校に送り出してくださいね。

Q幼稚園は学校のPTAのように保護者がやることが多くて大変だと聞いたことがあるのですが。

A.幼稚園には「父母の会」などがある園が多く、園で子どもたちを楽しませる行事を企画、運営してくれる事もあります。ちょっと大変そうにも思えますが、園の中に入ること、園の様子やお子さんの様子をより詳しく知ることができたり、保護者同士の横のつながりができたりします。何より、園と一緒に過ごせるお子さんが喜んでくれます。参加した保護者からは「やってみたら楽しかった」という声が多く聞かれるそうです。